

第6学年 学年活動指導案

平成18年6月29日（木）第6校時

場所：音楽室

指導者：

1. 題材 「児童集会に取り組もう～八色顔合わせ会をふり返って～」 (A学級活動(1))

2. 設定の理由

本学年の児童は、明るく活発で素直な児童が多く、教師がきっかけを作ると素直に取り組み、行動力を発揮する。また、各行事等があると児童の中から実行委員会を組織し、6年生全員が何らかの形でみんなの中心となって企画・立案し、大勢の前で話す経験ができるようにしている。しかし、話し合い活動では、大勢の前でも自分の経験や気持ちを積極的に話そうとする児童もいるが、遠慮して話せない児童もまだ多い。

異学年との交流は、休み時間に1年教室に遊びに行く児童、体育館や運動場で活発に異学年の児童と遊ぶ児童も多くいるが、最上級生として、世話をしああげる気持ちで下級生と関わって遊んでいる児童は少ないように思われる。

本校では、縦割り八色チームが組織される。今年度は縦割り八色チームで活動する年間行事として、①「八色顔合わせ会(6月)」・②「運動会(9月)」・③「マラソン大会(10月)」・④「八色集会(11月)」・⑤「なわとび大会(2月)」の5回を計画している。

先日、「八色顔合わせ会」を行った。2校時～3校時を使い、2校時は各チーム特別教室等に分かれ、名刺ジャンケンでチーム内交流をした。3校時は体育館に全員集まり、八色対抗綱引きを行った。この「八色顔合わせ会」は、各チームのリーダーを実行委員とするリーダー会が計画・立案をした。リーダー会からの呼びかけのもと、6年生は、「八色チームの中で下級生の名前を全員覚え、仲良くなろう」というめあてで全員、八色顔合わせ会の進行にあたった。

児童が自主的に書いてきた自学ノートのふり返りを見ると、「6年生のめあてはクリアできなかったけど、チームで協力できた。」・「全員と仲良くできなかったのも、もっと仲良くしていきたい。」・「また綱引きをしたい。」と肯定的に感じている内容が多かった。

本時では、ふり返りを大切に、次の縦割り八色チームの活動(運動会児童種目)に向けての意欲を高めたい。そして、運動会児童種目について、例えばどんなことをしたらよいかについて、意欲的に話し合わせたい。また、校長による叱咤激励で、最上級生の自覚を再認識して欲しい。

2学期に取り組む運動会では、本時をきっかけとして、縦割り八色チームごとで自主的に、運動会児童種目の練習に取り組む活動になっていってくれればと考えている。そして、下級生の世話をする自主的な縦割り活動につながって欲しい。

3. 評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
課題に関心を持ち、意欲的に話し合いに参加しようとしている。		自分の意見や気持ちを話すことができる。	

4. 本時のねらい

- ・八色顔合わせ会をふり返り、さらに意欲的をもってできることを考え、話し合いに参加することができる。

5. 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点	評価（観点・規準・方法等）
10	1. 八色顔合わせ会をふり返る。 ・6年生全員で進行をするのは初めてだったけど、やってよかった。 ・協力してくれない学年もあった。 ・下級生の名前を全員覚えられなかったので、もっと仲良くしたい。 ・うまく協力できなかったので、今度、機会があったらしっかりやりたい。 ・綱引きでは、チームで協力できた。またやりたい。	・児童会役員に司会をしてもらう。 ・課題につながるよう、教師側でふり返りをまとめる。	○自分の意見や気持ちを話すことができる。 （技能・表現） 【発言・行動観察】
5	2. 課題を確認する。 八色対抗の運動会児童種目を何にしたらよいか考えよう。	・話し合いの参考として、何人かの児童に意見を聞く。 ・全員話し合いに参加できるよう、チームごとにリーダー司会のもと、チーム内で話し合うようにする。	○課題に関心をもち、意欲的に話し合いに参加しようとしている。 （関心・意欲・態度） 【発言・行動観察】
15	3. 話し合う。 ・八色対抗綱引き！ ・八色対抗で王様こおり鬼！ ・去年した児童種目「ゆのっこクリーム一丁あがり」の八色対抗版！	・話し合いに意欲的に活動していたチームや児童を評価し、次時の意欲につながるようにする。	
10	4. 話し合ったことを紹介する。		
5	5. 校長先生からの激励。		

6. その他

参考文献：『特色ある学校づくりにおける特別活動の実践「特別活動研究集録第44集」』
埼玉県特別活動研究会